

No.156

## わか家の天使たち



亀山の  
とがみ けいご  
戸上 圭吾 くん (6)

もうすぐピカピカの小学1年生! 大変なこともあるけど一緒に頑張っていこうね。これからもみんなを笑顔にする元気な圭吾くんでいてください。  
(父・母より)

## 笑顔 をさがして

393 人目の笑顔さん  
てづか たいき  
手塚 貴喜 さん



昨年二十歳になり、社会人2年目です。しっかりと技術を身につけ、お客さまから感謝される立派な整備士になりたいです。また、これまで支えてくれた人たちへ感謝し、自覚と責任を持った大人を目指していきたいです。

広報もおか 826号/令和6年3月1日発行/発行人 真岡市長 石坂真一/編集 秘書広報課広報広聴係 〒321-4395 栃木県真岡市荒町 5191 / TEL 0285-83-8100 / FAX 0285-83-5896 / HP <https://www.city.moka.lg.jp/>

知る  
考える  
行動する

# SDGs MOKA

踏み出そう  
世界の未来のために

## ものを大切にするまち真岡市



夏休み工場見学・環境学習会

環境問題に対する意識の向上や、ゴミの減量化・資源化の適正な処理を行い、循環型社会への取り組みを推進しています。

### 11 住み続けられるまちづくりを ごみから資源へ 天然資源の消費を抑え環境負荷を減らす

せん定枝・落ち葉・草を真岡リサイクルセンターでたい肥化し、CO2削減などに貢献しています。



### 12 つくも責任 つかう責任 3R (リデュース・リユース・リサイクル) 運動の定着

環境学習会やフードドライブ活動、空き缶・ペットボトル・雑紙等の再資源化への啓発など、ごみの発生抑制と減量化を推進しています。



詳細は市HP参照 ID15480

## やってみようSDGs! (問・環境課ごみ減量係 TEL 83-8126)

### ■「ボトル to ボトル」水平リサイクル開始

使用済みペットボトルを原料にして新たなペットボトルに再生することを「ボトル to ボトル」水平リサイクル」といい、真岡市では、サントリーグループなどと同リサイクル協定を締結しました。令和6年度から、市で回収したペットボトルは、飲料ペットボトルとして再生し流通されます。



### ■ 使用済み食用油をリサイクル!

家庭ごみの減量と資源化を推進するため、使用済み食用油を回収し、燃料やインクなどにリサイクルします。



詳細は市HP参照 ID21587

【回収ボックス設置場所】市役所本庁舎、AutoMirai 真岡公民館、公民館真岡西・山前・大内・中村・二宮各分館

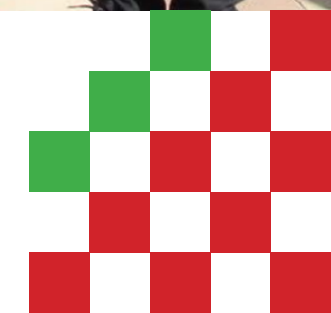
【出し方】冷ました油を透明なペットボトルに入れ、蓋を閉め、回収ボックスにそのまま入れる。



まちなか保健室 へのみや館オープン! (P8 関連記事)

## 特集

令和6年度は市制施行70周年の節目の年です  
まちつく活動報告  
推し街ボランティア活動報告





# 令和 6 年度はみんなでお祝いしよう！ 真岡市 70 周年・二宮誕生 70 年



令和6年度、真岡市は市制施行70周年を迎えます。また、旧二宮町の誕生から70年目となる節目の年でもあります。令和5年4月に発足した真岡市市制施行70周年記念事業実行委員会では、この真岡市70周年および二宮誕生70年の年を、市民みんなでお祝いするための準備を進めています。(問・総合政策課総合政策係Tel 83-8102)

## 「70周年記念キャッチフレーズ&ロゴマーク」決定



真岡市全体が団結し、70周年を盛り上げるために使用するキャッチフレーズを募集しました。また、キャッチフレーズと親和性の高いロゴマークも募集し、次のとおり決定しました。



70周年記念キャッチフレーズ  
**いちごのまちから  
未来をつむぐ もおか70**

	70周年記念キャッチフレーズ	70周年記念ロゴマーク
募集期間	令和5年1月10日～2月28日	令和5年7月18日～8月31日
選定方法	367点の応募作品から実行委員会等で選考した4作品を市民のインターネット投票で選定	42点の応募作品から実行委員会等で選考した5作品を市内小中学生の人気投票で選定
最優秀賞	水沼 直人さん(芳賀町)	新保 怜奈さん(壬生町)
優秀賞	新免 弘樹さん(東京都品川区) 西本 卓司さん(東京都世田谷区) 北城 早織里さん(真岡市)	野沢 有里さん(埼玉県鴻巣市) 居関 孝男さん(京都府京都市) 占部 博士さん(東京都中野区) 前田 貴行さん(東京都北区)

## それから70年、先人に感謝し、新たな一歩を

令和6年度に実施する真岡市市制施行70周年記念事業の主なものを紹介します。

### R6.10.5(土) 70周年記念式典&記念パレード

KOBELCO 真岡いちごホールを会場に、真岡市への愛着や地域の絆を深める機会として「記念式典」を開催します。  
午後からは市役所北側の通りを会場として、市民参加型のパレードを実施します。海外友好都市訪問団などの参加も予定しています。



### R6.10.19(土) ランタンを飛ばそう

いがしらリゾートアウトドア秋フェスにおいて、ランタンを飛ばします。幻想的な雰囲気の中で夜空に飛ばしましょう。



### R6.12.15(日) OSK 日本歌劇団公演

本市アンバサダー・桐生麻耶さんを中心としたOSK日本歌劇団の特別公演を開催。桐生さんのトークショーなども予定しています。



### R6.12.22(日) 第九演奏会

本市や地域にゆかりのある演奏家を招致し、市内で活動する合唱団や交響楽団とともにベートーヴェンの交響曲第九番を演奏します。



### R7.3.15(土)16(日) いちごハッピーフェスティバル

井頭公園をメイン会場に、真岡市の魅力を発信するいちごのイベントです。道の駅にのみや、真岡駅、久保記念観光文化交流館のサテライト会場と連携しながら真岡市全体の大イベントとして開催します。



### 協賛事業を募集中

ロゴマークの使用や、のぼり旗の貸与等を行います。真岡市の魅力発信とともに70周年を盛り上げましょう。



詳細は市HP参照  
ID21048



# マチツク!

—真岡まちづくりプロジェクト—

## 地域再生大賞を受賞しました

令和3年4月に高校生・大学生20人のメンバーで活動を開始した真岡まちづくりプロジェクト（通称まちつく）。令和5年度は新たに36人が加わり、まちづくりのアイデアを出し合いながらさまざまな活動を行い、栃木県代表として地域再生大賞の優秀賞を受賞しました。

ここでは令和5年度の活動の一部をご紹介します。令和6年度の新メンバー募集は、4月以降に開始予定です。  
(問・プロジェクト推進課複合交流拠点整備係 83-8059)



市HP  
ID 12938

## 「まちつく体験講座」でまちづくりのアイデアを共有

今年度は3日間開催しました。各日、参加者たちは、まちあるきを活動メンバーとともにし、岡部記念館「金鈴荘」や門前地区などを訪れ、中心市街地の現状について知りました。その後、市役所2階の青空ステーションでグループワークを行い、「私は〇〇がしたい!」をテーマにまちでやりたいこと(ウィッシュポエム)をワークシートに書き、グループごとに共有しました。



門前地区でのまちあるき



グループごとにアイデアを共有

## 「寺子屋ドーナツ」で人の輪・学びの輪を創出

「ドーナツを通じたまちづくりをしてみたい!」という高校生の一言から始まった寺子屋ドーナツ。ボランティアスタッフの高校生・大学生が小・中学生に勉強を教え、おやつタイムと一緒にドーナツ(夏はかき氷)を食べて、人と人のつながりを作ることを目的としています。

今年度は、8月と12月にそれぞれ3日間ずつ行われ、参加者たちは学校や年齢の違う参加者同士での交流を楽しんでいました。



勉強を教えている様子



おやつタイム



活動資金を募るため企業人訪問

## スタッフ自ら活動資金を募る

今年度は新たな取り組みとして、大学生スタッフが活動資金を募るために真岡市内の企業を訪問しました。また、まちつくのInstagramでも事業のPRと併せて募金を行い、市内外30の企業や個人の皆さまから合計151,500円の寄付をいただきました。

## 「マチツク相談会」でやってみたいという想いをカタチに!

活動の中で、地域の方から「やってみたいけど、どうしたらいいかわからない」などの声を聞くこともありました。そんなアイデアを実現するため、個別の相談会を毎月第3水曜日に開催しました。相談会を通じて、実現したイベントもあります。真岡市でやりたいことがある方は、ぜひ申し込みください!



申込フォーム



青空ステーションでの個別相談会



相談会を経て実現したボドバパーティ

## 「図書館イベント」でにぎわう図書館を実現

### ナイト・ライブラリー/リブフェス

まちつくと図書館のコラボ企画として、夜の図書館でのイベントを実施。映画鑑賞やおはなし会、本みくじ、影絵を9月に行いました。また、第2弾の企画として1月にリブフェスを開催。多くの来場者が「一箱古本市」や「焚火でスマホ」など、普段とは少し違う催しを楽しみました。(リブフェスの詳細はP11をご覧ください)



ナイト・ライブラリー



リブフェス



おすすめ本をまとめたPOP



お気に入りの本を紹介している様子

## 参加者で本の面白さを語る「珈琲と本と図書館」

お気に入りの本1冊を持ち寄り、大正時代の「冷やしコーヒー」を楽しみながら、それぞれ1分間の持ち時間で本の紹介を行うイベントが、二宮コミュニティセンターの芝生広場で行われました。参加者たちのおすすめ本をまとめた本の紹介文が、二宮図書館に掲示されています。

## まちつくをもっと知りたい方へ! まちつくのInstagramで随時更新中



まちつくInstagram

## パブリックサインがリニューアル!



真岡工業高校建設科3年生6名が制作した五行川河川敷緑地のシンボル「RIVER+」のパブリックサイン2代目が設置されました。

## リノベーションワークショップ実施中!



市役所近くの空き店舗でまちづくり拠点を作っています。まちつくのメンバーたちが、壁や天井のペンキ塗りなどを行っています。



# 推しボラ

推し街ボランティア

高校生のボランティア体験

推し街ボランティアは、高校生を対象としたボランティア体験事業です。地域活動や市民活動での体験を通じて、社会貢献やボランティアに興味を持ってもらうことを目指すと同時に、活動へ参加することの意義や自治会・市民活動団体等の必要性を理解してもらうことを目的としています。

## 高校生51名が活動

令和5年度は、市内の8団体がボランティア体験の受け入れ先となりました。高校生たちは、5月28日のキックオフミーティングで各団体から説明を受け、自ら選んだ団体で6月から8月にかけて、延べ27回の活動に参加しました。

9月10日にクロージングミーティングを開催。それぞれの体験と活動を通して実感した「真岡の推しポイント」をグループで話し合い、発表しました。

今回はボランティア活動の主な内容と参加者の声を紹介します。



真岡工業高校4人、真岡高校2人、真岡女子高校13人、  
その他市外の高校から32人

### 来年度も推しボラやります！

令和6年度「推しボラ」参加者の募集は4月頃を予定しています。

問・真岡市市民活動推進センター  
コーポレもおか Tel 81-5522  
市民協働推進室 Tel 83-8141



詳細は市HP参照  
ID19779

## さまざまな世代と交流するボランティア

「NPO法人そらいろコアラ」では、親子イベントのチャリティバザーやこども食堂をサポート。「NPO法人ま・わ・た」のフードバンク活動では、事務所オープン記念イベントの補助や寄付品の食品管理や配布を体験。「高勢町育成会」では、夏休み中の子どもたちへの学習支援等のサポートを行いました。子どもから大人まで市内のさまざまな世代と関わり、人々の温かさを実感しました。

子どもから大人まで、関わる事ができたので、自分とは違った見方や考え方を知ることができて面白かった。



参加した高校生



高勢町育成会の方

学習支援では、子どもたちも喜んでいました。高校生が子ども同士の共同作業の中でつなぎ役になってくれた。



「NPO法人そらいろコアラ」親子イベント



「NPO法人ま・わ・た」フードバンク活動



「高勢町育成会」子どもたちへの学習支援

## 真岡の豊かな自然に触れ合うボランティア

「いがしらファーム」の収穫体験や昆虫採集、「ふれあいの森伊勢崎」の里山でのイベント補助やアジサイの管理、「もおか環境パートナーシップ会議」のホタルの住みよい環境整備や綿の栽培、里山林の保全、「荒町4区」の菜種の種まき作業など、真岡市内では、環境保全が積極的に取り組まれていることや豊かな自然の大切さを学びました。

林の中に入り、昆虫採集をしたり、里山の環境整備を行ったり、自然に触れ合うことができ楽しかった。



参加した高校生



ふれあいの森伊勢崎の方

暑い中ボランティアありがとうございました。若い人たちのフレッシュな感じが活動にプラスになった。



「いがしらファーム」収穫体験



「ふれあいの森伊勢崎」アジサイの管理



「もおか環境パートナーシップ会議」綿の栽培を管理する活動



「荒町4区」菜種の種まき作業

## 地域の伝統行事に関わるボランティア

「京泉1区」では、泉わくわくサロンや相宮神社夏祭りのサポートを行いました。泉わくわくサロンでは、地域の文化財マップ作りを体験。地図のトレーシング作業を手伝いました。また、夏祭りのサポートでは、お札と提灯の準備を体験。提灯の準備では、木枠に和紙を張り、手書きで文字入れを行いました。高校生にとって地域の伝統を受け継ぐことの大切さを実感する体験となりました。

地域の特色やその人の考えを共有し、良い刺激を得ることができた。



参加した高校生



京泉1区の方

地域活動では高齢化の波や内容の慢性化で参加者離れが起こりつつある。高校生との活動は新鮮で今後の運営を見直す観点からもいいと思う。



泉わくわくサロン（文化財マップ作り）



相宮神社での夏祭り（提灯の準備）



相宮神社での夏祭り（文字入れ）





ほっとステーション  
まちなか保健室に行ってみよう！

駅前館、田町館に続く市内3番目のまちなか保健室「にのみや館」が1月26日(金)にオープンしました。まちなか保健室では、健康チェックや健康、介護、子育てなどに関する相談ができます。  
(問・健康増進課健康づくり係Tel 83-8122)



健康チェック&健康相談

血圧計・握力計・体組成計などを使って、自分で簡単な健康チェックができます。買い物の帰りやウォーキングの途中に、気軽に立ち寄ってみましょう！



保健師や看護師などの専門家が健康相談に応じます。また育児などに関するアドバイスも受けられます。

キッズスペースも充実

キッズスペースも完備しています。来訪者同士のおしゃべりや地域の交流の場としてぜひご活用ください。



赤ちゃん体重測定

まちなか保健室は「赤ちゃんの駅」も兼ねています。ベビースケール(赤ちゃん用体重計)や授乳・おむつ替えスペースも自由に利用できます。

健康教室の開催

毎月のテーマに合わせ、健康づくりや病気の予防などに役立つ講座を開催しています。



栄養士の健康講座(田町館)



骨盤体操(駅前館)

血糖値が高めの方の食事や骨粗しょう症予防レシピなど、栄養士の講座から役立つ情報をゲットしましょう。

さらに健康になれるチャンスです！

所在地・連絡先	開室日時
<b>田町館</b> 田町 2203-1 Tel 080-8096-9918	月～木、土・日曜日 午前9時～午後4時 (お盆、年末年始休み)
<b>駅前館</b> 台町 2476-16 Tel 080-9990-3998	火～金、土・日曜日 午前9時～午後4時 (お盆、年末年始休み)
<b>にのみや館</b> 久下田 848-5 Tel 080-8058-9925	月・水・金・土(祝日除く) 午前9時～午後4時 (お盆、年末年始休み)



寄贈 市内小中学校にいちごを寄贈  
1.12(金) 15(月)  
日本一のいちご「いただきます」

生産量日本一を誇る真岡のいちごを子どもたちに知ってもらおうと、今年もJAはが野いちご部会から市内の小中学校へ、いちごがプレゼントされました。(写真は大内中央小) 真っ赤に色づいた大きないちごが配られると、元気いっぱいの児童たちは笑顔で頬張り「いちご大好き!」「甘くておいしい!」と日本一の味を楽しみました。



寄贈 「野球しようぜ!」のメッセージとともに  
1.15(月)  
大谷クラブお披露目会(物部小学校)

メジャーリーガーの大谷翔平選手が寄贈したクラブが各小学校に届きました。物部小学校ではお披露目会が開かれ、小林妙子校長が、クラブとともに大谷選手の母校・花巻東高も物部小と同じく二宮尊徳の教えを校訓としていることなどを紹介しました。地元の学童クラブに所属する3人が代表でキャッチボールを行い「贈ってくれてうれしい」と笑顔を見せていました。



表敬訪問 全国大会に真岡東中4チームが出場  
1.12(金)  
全中ロボコンで2位など大活躍

全国中学生創造ものづくり教育フェア創造アイデアロボットコンテスト関東甲信越大会で、真岡東中の4チームが上位に入賞し、全国大会出場を石坂市長に報告しました。全国大会は1月20日(土)に東京都内で行われ「ひがし野 Gold Children」が厚生労働大臣賞(全国2位)、「ひがし野 VB4」が日本産業技術教育学会賞、「ひがし野 New スターズ」が審査員特別賞を受賞しました。



(左から)石井 健太郎さん「ひがし野 TSUYOKA」、飯野 陽音さん「ひがし野 Gold Children」、石坂市長、永石 優菜さん「ひがし野 VB4」、富山 侑義さん「ひがし野 New スターズ」

式典 新しくなった歩道橋で地域の安全と安心を守る  
1.29(月)  
久下田2号歩道橋 渡り初め

国道294号の4車線化整備に伴い、架け替え工事を行っていた久下田2号歩道橋が完成し、渡り初め式が行われました。式では、毎日登下校で利用する久下田小児童によるテープカットが行われ、新しい歩道橋にうれしそうなお顔をみせていました。





**活動** 夢に向かって努力する大切さを伝える  
1.15 (月) 16 (火)  
**夢の教室 (真岡東小学校)**

夢を持つことや仲間と協力することの大切さを子どもたちに伝える“夢の教室”が実施され、武術“太極拳”の国際大会等でメダルを獲得している、市来崎大祐さん(いちきさき だいつけ)を夢先生として迎え授業を行いました。児童たちは、体育館で夢先生と一緒に身体を動かした後、教室へ移動し、夢先生の体験談をもとに、どんなふうにも夢を持ち、実現に向けて取り組んでいくかを学びました。



**活動** 仕事のやりがいや大変さを知り、今の自分を振り返る  
1.22 (月)  
**職業人に聞く会 (山前小学校)**

6年生を対象に行われたこの授業は、その道のプロから直接話を聞くことで、職業についての理解を深め、将来の自分の生き方を考える機会となっています。児童は、警察官や美容師、パティシエなど11職種の方から、仕事に就くまでの努力や業務内容、やりがいなどを学びました。また、実際に使っている道具にも触れ、貴重な体験となりました。



**イベント** コットベリー&もおかびよんも参加  
1.14 (日)  
**いちご王国・栃木の日**

1月15日の“いちご王国・栃木の日”に合わせて、県庁周辺で記念イベントが開催されました。県議会議事堂1階ロビーで行われたセレモニーでは、コットベリーとおおかびよんも参加し、子どもたちと一緒にダンスで会場を盛り上げました。



**イベント** 大人も子どもも楽しむ 冬の風物詩  
1.14 (日)  
**第31回にのみやたこあげ大会**

鬼怒川河川敷緑地公園で、にのみやたこあげ大会が開催されました。前日の積雪が残る中でしたが、参加者たちは雪の上を元気に走り回り、たこあげを楽しみました。大会では、手作りのデザインや上がり具合を競い合うたこあげ審査のほか、群馬県赤城風の会による6畳の大凧あげも行われ、大凧が空に舞うと、その迫力に歓声が沸き起こりました。



**イベント** みんなで目指そう 交通事故0のまち  
1.25 (木)  
**真岡市交通安全市民大会**

市民の交通安全に対する意識の高揚と普及を目的に行われる“交通安全市民大会”がKOBELCO 真岡いちごホールで開催されました。大会では、市内小学生6名が自身の交通安全作文を朗読しました。交通事故撲滅を誓う大会宣言に続き、県警音楽隊・カラーガード隊によるパフォーマンスも披露され、交通安全への気運を高めました。

**イベント** 図書館をより深く知って、楽しもう!  
1.28 (日)  
**真岡図書館リブフェス 2024**

真岡図書館と二宮図書館を会場に“リブフェス”が初めて開催されました。真岡図書館では、ボランティア団体によるおはなし会や館内を使ったナゾトキ、古本市、フード販売などが行われ、二宮図書館では、演劇集団サジカゲンによる朗読劇などが行われました。家族連れなど多くの方が訪れ、普段では体験できないにぎやかな図書館を楽しみました。



**イベント** 第35回真岡市地域公民館芸能発表会  
2.4 (日)  
**伝統芸能・創作芸能を熱演**

地域文化への理解や郷土愛を育むことを目的に行われる“地域公民館芸能発表会”がKOBELCO 真岡いちごホールで4年ぶりに開催されました。山前中学校吹奏楽部がオープニングを飾り、続いてフラダンス、お囃子、日本舞踊、田植唄など、13団体が日ごろの練習の成果を披露しました。熱意が込められたステージに、会場からは大きな拍手が送られました。



**イベント** 4年ぶりの26段ひな飾り 華やかに彩る  
2.1 (木) ~ 3.3 (日)  
**真岡・浪漫ひな飾り**

久保講堂をメイン会場に金鈴荘など市内各所でひな飾りが展示されています。4年ぶりの展示となった久保講堂では、約400体のひな人形が飾られ、衣装や表情の違いなどを楽しむことができます。彩り鮮やかなつるし雛も飾られ、来場者を魅了していました。





【人口と世帯数】令和6年2月1日現在 ※カッコ内は前月比  
78,862人(-140) 男39,953人(-63) 女38,909人(-77)  
33,152世帯(-36) 住民基本台帳と外国人登録者数(4,147人)から算出

「広報もおか」は、電子書籍ポータルサイト「TOCHIGI eBOOKS」とちぎイーブックスでも読むことができます。



### 災害時や観光・教育などで活用

1月18日(木)、市内でドローン教習所を運営している“(株) 栃木 DRONE STATION”と包括連携協定および災害時における無人航空機による協力に関する協定を締結しました。ドローンは、災害が起きた際の被害確認や行方不明者の捜索などで活用されるほか、観光プロモーションなどでの利用も検討しています。



(問・総合政策課総合政策係Tel 83-8102)

### 災害用ポータブルトイレ 寄贈

2月1日(木)、真岡市と地方創生に関する連携協定を締結している“あいおいニッセイ同和損害保険株式会社”が、災害用備蓄品ポータブルトイレ15台を寄贈しました。(問・くらし安全課危機管理係Tel 83-8396)



### 令和6年能登半島地震 被災地支援

1月1日に発生した能登半島地震による石川県内の被災地を支援するため、1月13日(土)以降、現地に市職員を派遣しています。



市職員の被災地派遣スケジュール(2月15日現在)

出発日	期間	人数	行き先	活動内容
1月13日	9日間	4名	輪島市	給水支援活動
1月22日	8日間	1名	穴水町	罹災証明書申請受付等
2月9日	7日間	4名	輪島市	給水支援活動
2月14日	7日間	4名	輪島市	給水支援活動
2月15日	8日間	1名	穴水町	住家被害認定調査
2月24日	5日間	1名	穴水町	避難所運営支援等
3月	未定	未定	未定	避難者の健康管理支援

### 災害時に葬祭用品等を供給

2月6日(火)、市は栃木県葬祭事業協同組合と災害時における棺および葬祭用品の供給等ならびに遺体の搬送等の協力に関する協定を締結しました。



(問・くらし安全課危機管理係Tel 83-8396)

### 真岡市の国際交流事業を応援

2月1日(木)、(株) Aizawa Corporation 相沢正雄代表取締役が市役所を訪れ、真岡市はペルー系住民が多いことや相沢代表がペルーにゆかりがあることから、多文化共生に役立ててほしいとの意向で20万円を寄付しました。(問・真岡市国際交流協会事務局くらし安全課Tel 83-8719)



### わたのみ基金・善意銀行

1月に寄付をされた方々です。ご協力ありがとうございました。(敬称略、問・社会福祉協議会Tel 82-8844)

わたのみ基金	善意銀行
四つ竹健康おどり 雅流 18,694円	JA はが野真岡地区・二宮地区女性会 食品
	栃木県街商協同組合 77,296円
	ダイナム栃木真岡店 食品等一式
	匿名 軍手 276双
	匿名 保存食 27点
	匿名 生理用品 14袋
大石克巳 中学校制服(上)2着、(下)3着	
白井凜 中学校制服(上・下)2着	
	ベスト1着、リボン2本

## 真岡で活躍している人を応援します それいけ！ まちびと

真岡で自家焙煎珈琲店「真岡珈琲ソワカフェ」を営む蒲谷英和さん。メーカーの技術者から50歳で一念発起し、家族で珈琲店を始めました。活動のきっかけや想いを、地域おこし協力隊の栗村さんが取材しました。



横浜で生まれ、中学生の時に親の転勤で真岡へ引っ越してきました。県内のメーカーに就職し、技術者として長年勤務しましたが、毎日仕事一色で、地域と関わりを持つ余裕もありませんでした。しかし、50歳を目前にして、自分の人生このままで良いのかと考えるようになり、自分には何ができるのか、強みは何なのか、いろいろな仕事を検討した結果、たどり着いたのが焙煎屋でした。偶然、真岡には焙煎屋が無く、焙煎にはものづくりで培ってきた技術を生かすこともできる。これなら自信を持って製品を作れると思い、10年前に起業し、妻と一緒にスタートさせました。今は、コーヒーを通して地域とのつながりと、この地域に愛着を持つきっかけをつくりたいと思っています。地域とのつながりは生きている限り無くならないもの。だからこそ、働き世代の方に、違う生き方、考え方をする人と出会い、人生をより豊かにする機会を提供したいと考えています。



市HP ID 20987

## 集まれ mokafan

みなさんの SNS 投稿作品を紹介

インスタグラムやフェイスブック、エックスなどの SNS で、#mokafan や#真岡応援カメラマンが付いた作品から、今回は「鳥」をテーマに紹介します。(問・秘書広報課シティプロモーション係 Tel 81-6947)

ご自身の SNS アカウントで「#mokafan」「#真岡応援カメラマン」をつけて写真を投稿してください。



市HP ID 13734



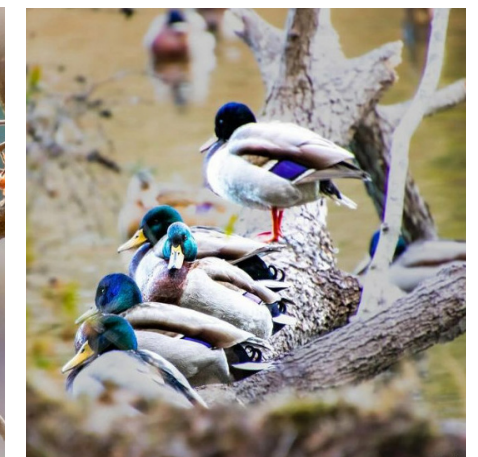
真岡市公式 Instagram



♥ Q▽ #ルリビタキ(井頭公園)



♥ Q▽ #メジロ(井頭公園)



♥ Q▽ #マガモ(井頭公園)

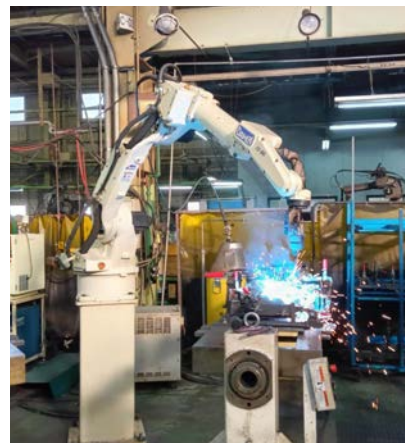


ちょっと拝見!

MOKA



の職場



溶接の様子



PCでの部品発注作業



休日はバイクでリフレッシュ

南海金属株式会社 真岡工場  
生産管理部

いいだ あい  
飯田 藍さん(27歳)

製造技術者の伴走者として  
調達管理のスキル向上を目指しています



### 仕事内容を教えてください

農業機械等の板金部品調達を行っています。工程の進捗状況を把握しながら部品や原材料を発注し、製品(完成品)が期日に遅れることなく客先へ納品できるよう部品納入スケジュールを管理しています。

現在、約1万点以上の部品を担当しており、製造技術者の伴走者として社内の各部門と連携をとりながら、約200社ある取引先と仕入れ数量や納期の調整・交渉を行っています。

### 入社のきっかけは何でしたか?

工業系の仕事に就きたい、地元で長く勤めたいと思っていたこと、また、アットホームで人とのつながりが多い職場の方が仕事がしやすいと考え、この会社を選びました。

### やりがいは何ですか?

苦勞してそろえた部品が、大きな完成された製品(農業機械)となり、自分の目で、この部品がこ

こに使用されていると改めて確認ができた時、加工や製造の工程が思い起こされ、頑張っただけの思いが伝わったと実感できます。

業務が多岐に渡るため社内外での信頼関係を築き、多くのつながりができていくのが楽しいです。

### 社内の雰囲気はどうですか?

全体的に明るい雰囲気、社員の意見を聞き止めてくれている会社だと思います。福利厚生も充実しており、育児休暇や介護休暇など男性社員の取得実績もあり、制度を活用しやすい職場環境です。

### 今後の目標を教えてください

仕事を始めて1年半が経ち、業務での改善点が見えてきたので、よく考えて効率的に行動し、生産性を上げる原動力になればと思います。今後は後輩の育成にも力を入れて、仕事のノウハウや調整力、交渉力をアドバイスできるよう努めます。

### 会社プロフィール



南海金属株式会社 真岡工場

【所在】長田 185

【設立】1968年



会社HP



溶接技術を活かした農業機械や建設機械、特殊車両等の板金部品を中心に、治具の設計・製作から組み立てまで、お客様のニーズに合わせた製品づくりに取り組んでいます。また、「ものづくり世界一」を目標に掲げ、品質を進化させながら世界のフィールドに挑んでいます。

掲載希望の方は秘書広報課広報係へ  
Tel. 83-8100 kouhou@city.moka.lg.jp

## あの日あそこ

第420回

みずぬま ちづこ  
水沼 千鶴子さん  
(寺久保在住・82歳)



声で語る「わくわく」を  
多くの人々へ届けたい

私は昭和16年、神奈川県横須賀市で生まれ、3人姉妹の長女として育ちました。その年の12月に太平洋戦争が始まりました。戦時下であったので空襲警報のサイレンが鳴ると防空壕へ逃げ、その中で母が炒った豆を少しずつ食べて空腹をしのいだこともありました。4歳の頃に終戦となり、その時は千葉に住んでいました。当時は食料不足で、母親や近所の人たちと農家へ食料の買い出しに付いて行きました。しかし途中、一本橋を渡って川を越えなければなりません。その時の恐怖心は、今でも思い出すと背筋が冷たくなります。

その後、父の実家がある真岡で暮らすことになりました。ぎゅうぎゅう詰めの貨物列車に家族で身を寄せ合いながら移動し、母親の実家がある茂木で小学2年生まで一時過ごした後、学生時代から現在まで、人生の大半を真岡で暮らしています。

会社を退職した後は、パートを続けながらシルバー大学へ2年間通いました。人前で話すことが苦手な私でしたが、たくさんあるクラブ活動の中で初めて聞いた民話に強く惹かれ、クラブに入り

ました。民話は台本が無いので、本を読み自分で原稿を作ります。この作業が一番大変でした。初めての発表会では、緊張でセリフを忘れたこともありましたが、亀山小で活動している様子(平成4年5月)



シルバー大学卒業後の平成17年に、民話の会「花もめん」を立ち上げ、活動を始めて今年で19年目に入りました。4月から始まったケーブルテレビ「みんなの民話」の放送は153回を数え、平成20年からの「町おこしふるさとの昔ばなし」は、今年2月で154回を迎えました。現在も小学校や公民館、高齢者施設での活動や、FMもおかで土曜日の朝8時から放送しています。民話は聞き手と語り手で成り立つものです。話に引き込まれて感動したとか面白い話には笑って反応してくれた時は語り手冥利に尽きます。また、子どもたちが目を輝かせながら聞いている姿に私自身元気をもらえます。コロナ禍で活動が制限された時期もありましたが、昨年11月に4年ぶりに発表会を行い、大勢の方に来ていただきうれしかったです。これからは、健康のために四竹踊りやグランドゴルフ、カラオケなどをしながら、もう少し民話も続けたいと思っています。



旦那さんが叙勲を受賞されたときの一枚

### 消費生活センターメモ No.489

数年後に配達される  
新聞購読契約はトラブルのもと



<事例> 突然、新聞が配達され始めた。販売店に問い合わせると、3年前に2年間の契約をしていたことが分かった。



新聞購読は「契約」です。いったん成立するとお互いに契約内容を守らなければいけません

訪問販売で契約した場合、契約書面を受け取った日から8日以内であれば、クーリング・オフにより無条件で契約解除ができます。

しかし、事例のように、購読期間を定めた契約はクーリング・オフ期間を過ぎた場合、一方的な理由で中途解約できません。



### 新聞購読契約に関するガイドライン

読者から解約の申し出があった場合の対応について、日本新聞協会および新聞公正取引協議会は、購読者の死亡、購読が困難になる病気・入院・転居など、解約が合理的だと考えられるときは、販売店は解約申し出に応じるべきという考え方を示しています。また、認知症など判断力が不足している状態での契約や、上限を超える景品を渡していた場合などは、直ちに解約に応じるべきとしています。



### 景品の上限額(新聞公正競争規約)

「契約金額の8%または6カ月分の購読料金の8%のいずれか低い金額」と定められています。

【相談窓口】消費生活センター(くらし安全課内)  
Tel. 0285-84-7830 (ハナシテナヤミナシ)  
平日 9:00~12:00 13:00~16:00 ※相談料無料